

2021年8月2日

中国深圳市における新分公司設立について

国際紙パルプ商事(本社:東京都中央区 社長:栗原 正)の中国事業を担う慶真紙業貿易(上海)有限公司(以下、「慶真紙業」)では、昨年10月より現地に根差した紙商事業を展開しており、これまで上海、無錫、杭州、北京、済南に5拠点を立ち上げ順調に業績を拡大しております。今般、更に華南地区にまで事業を拡大するため、新たに深圳分公司を設立しました。中国は世界最大の紙・板紙市場であり、慶真紙業はKPPグループの海外事業における主力企業として更なる発展を目指します。



深圳分公司の所在するビル

社 名：慶真紙業貿易(上海)有限公司深圳分公司
所 在 地：深圳市光明区光明街道東周社区環霖大厦 11 階 09 室

◇ 分公司設立の背景

慶真紙業はこれまで華東及び華北に拠点を設置し、事業活動を展開していましたが、中国三大経済圏のうちの一つである華南市場へのアプローチが十分ではありませんでした。この度、華南地区での取引拡大を目的に、深圳市に分公司を設立したことで、華北から華南まで、中国経済を牽引する沿岸部全域をカバーする体制を整えることができました。

華南地区最大のマーケットである広東省の GDP は 2010 年から 2019 年まで一貫して中国首位(中国全体の約 11%強)を維持し、19 年には全国で初めて 10 兆元(約 170 兆円)の大台を突破し、力強い経済成長を続けています。中国の地区別紙・板紙生産量において、広東省は第1位で、2020年の生産量は2,012万トンに及びます。GDP 占有率からみて広東省の紙・板紙消費量は1,300万トンを下回らない巨大市場であると推定されます。

◇ 慶真紙業について

社 名：慶真紙業貿易(上海)有限公司
(KEISHIN PAPERS TRADE (SHANGHAI) CO., LTD.)

設 立：2010年

所 在 地：上海市娄山関路 83 号新虹橋中心大厦 2801 室

代 表 者：代表人 兼 董事長 顧 鈞

事業内容：紙類等の加工および販売

◇ 中国における拠点

上海 2020年9月設立（2021年5月に子会社化）。主に国産のコート紙、白カード、印刷用紙、PPCなどを取り扱っており、上海市場向けが多い。物流センターと加工センターを持つ。国内外の有力サプライヤーをベースに販売を展開。



無錫 2020年9月設立。大手製紙会社の製品を主に販売。江蘇省に販売ネットワークを広げ、物流配送システムを自ら構築。倉庫保管、断裁配送などのサービスを提供。



杭州 2020年10月設立。主に出版印刷用紙、包装用紙（食品向け包装紙を含む）を印刷会社や紙製品加工工場に販売している。主要なサプライヤーは大手製紙企業。



北京 2020年11月設立。大手メーカーの各種国産紙を取り扱う。主な市場は北京とその周辺地域。主に出版社や雑誌社などのハイエンド市場がターゲット。



済南 2020年9月設立。主に白カードと白板紙を販売。エンドユーザーは大手製薬会社の薬包印刷工場など。強みは小ロットの分割配送サービスを提供できること。主なサプライヤーは、大手製紙企業。



◇ 本リリースに関するお問い合わせ先

国際紙パルプ商事株式会社

事業戦略本部 海外管理部 海外事業管理課 TEL 03-5550-7397

管理本部 総務部 広報課 TEL 03-3542-4169